

平成26年度前期

学校評価結果と考察

学校評価の結果を真摯に受け止める

校長 亀谷 寿一

過日、夏期休業中に前期の学校評価の結果をまとめ、全教職員で今後の対策について話し合いました。児童、保護者、教職員それぞれのアンケート結果を分析し、日頃の教育活動の改善に生かそうと対策を検討し、取り組んでいるところです。なによりも、我々教職員が独りよがりにならないよう、いただいたご意見を真摯に受け止め、対策を実行に移していきたいと思っておりますのでご協よろしくお願いたします。

前期学校評価（児童・保護者・教師）から				
	児童	保護者	教職員（子どもの姿）	教職員（教師の姿）
評価平均 (昨年度)	3.43 (3.53)	3.40 (3.40)	3.31 (3.11)	2.95 (3.24)
評価平均 3.5 以上	楽しい学校生活 縦割り清掃時の発表 生命尊重 学校行事 後片付け あいさつ 仲よしの友達 交通安全とはとっこの約束 朝ご飯	分かりやすい授業 適切な学校行事 安全指導 情報提供 楽しい学校生活 朝ご飯（食べる・指導） PTA活動に参加 判断力・規律への指導	縦割り活動	知識・技能の定着 家庭学習の奨励 人間関係づくり・言動 人権尊重・いじめ防止 規範意識・勤労美化意識・ 生活習慣
評価平均 3.0 以下	なし	家庭学習の約束と目標時間 読書 手伝い	学習内容・規律・聞く力 道徳の時間・日常生活の道徳 学級活動・総合（課題意欲） 歌声・あいさつ・思いやり 委員会活動・後片付け 交通安全・学友区活動 食への感謝・情報教育 学校保健生活習慣 美化活動・エコ活動・資料 活用 情報教育・清掃活動 飼育栽培活動	聞く活動・授業の自己診断 安全確保・ふるさと意識 自己研修・掲示・飼育

<評価方法>

- ・評価方法については、1～4の4段階評価としました。
- ・評価結果は、平均3.5以上が「よい評価」と受け止め、3.0以下が「気を付けなければならない評価」としました。
- ・4段階評価の他に、自由記述による評価を取り入れました。

<考察>

昨年度も子供の評価が高かったもので今年も高いものに「楽しい学校生活」「生命尊重」「学校行事」「後片付け」「あいさつ」「縦割り清掃時の発表」「仲よしの友達」「交通ルールとはとっ子の約束」「朝ご飯」があります。子供の意識が高いことは大変結構なことです。しかし、これらの項目には保護者のみなさんや教師とのズレがあります。_____を付けた項目です。また、昨年度までの保護者アンケート結果の評価が低い項目にはなかった「家庭学習の約束と目標時間」が本年度は低い項目として入ってきました。以上の点について考察していきます。

まず、**生命尊重**についてです。本項目は子供に対して「生命を尊重して動植物の世話をしているか」を問いました。具体的な活動としては、自分の鉢で育てている植物や教材園、学校花壇の水やりや除草、ウサギの世話、メダカの世話等が挙げられます。このうち、自分の鉢や教材園での水やりや除草、ウサギやメダカの世話といったことに昨年度からの変更はなく、子供たちは今年も一生懸命に行っていたように思います。昨年度と大きく違うのは、本年度は園芸委員会がなくなり、学校花壇の水やりを各学年が担当することとなったことです。子供たちは毎朝、学校花壇の水やりに精を出していました。昨年度は園芸委員会に任せっきりになっていた学校花壇に、今年には実に多くの子供たちが接していたように感じます。

次に「後片付け」「あいさつ」「交通ルールとはとっ子の約束」についてです。この3点は数年来、子供たちとの間にズレが見られる項目です。子供たちにとって「しっかりとやっている」というレベルが現状であり、教師にとっては「まだまだ」というレベルが現状です。例えば、「あいさつ」。おそらく子供の意識には「あいさつ運動」時に頑張っている自分の姿を思い浮かべていることでしょうか。しかし、大人は日常レベルでのあいさつの習慣化を望んでいることでしょうか。ここにズレがあるように考えます。日常レベルでのあいさつの習慣化は、たやすいことではありません。継続することと見届けることが大人（教師）にとって大切なことであると考えますので、毎朝の校門における挨拶と声掛けを継続してまいります。

最後に、「家庭学習の約束と目標時間」について。教師アンケート結果から、「（教師は）家庭学習の奨励をしている」とする評価は3.7と非常に高かったです。しかし保護者アンケート結果から「（お子さんは）家庭学習の約束と目標時間を守って取り組んでいる」とする評価は2.98と低かったのです。学力向上の点で、家庭学習が大切なことはいまでもありません。昨年度末から家庭学習については、保護者のみなさんには県からリーフレットが出されました。また、市独自の家庭学習ノートを子供たちは使っており、例年以上に家庭学習を意識して取り組んできたように感じておりました。それでも昨年度（評価3.06）よりも保護者による評価が下がっているのです。昨年度末に保護者のみなさんからいただいた県から出されたリーフレットのアンケートに、「子供がやる気を出す具体的な言葉かけが大変役にたった」という記述が多く見られました。そこで、1学期末に取り組んだ家庭学習強調週間中に保護者のみなさんに書いていただいた「子供たちへかけた一声」をまとめ、学校から配布させていただきました。昨年度末の保護者アンケートにも「具体的な言葉かけが分かってよかった」というものが大変多かったからです。家庭で子供たちへかけていただく温かい声が、子供たちのやる気を向上させる何よりの糧となります。また、4月の県の学力調査結果や学習のたしかめ等の結果から、本校児童に足りない部分として「スキル学習の定着」があることも明らかです。それを2学期以降補っていくような教育活動を行っていく必要があると考え、9月から朝のパワーアップタイムを中心にスキル学習に取り組んでおります。ご家庭では、ぜひ子供たちの頑張りを見届けていただき、ぜひ温かい言葉かけをよろしくお願いいたします。

最後に自由記述欄に書いてありました保護者のみなさんの心配なことをキーワードでまとめます。「言葉遣い」「時間を守る」「正しい行動」「学校での出来事」「家庭学習の内容」でした。高学年になるほど学校での出来事をあまり家庭で話さなくなる子供は多くなり、そういったとき、学校から日常生活の情報を発信してもらえるとありがたいという声を多く聞きます。本年度は学校ホームページがほぼ毎日更新されており、子供たちの活動の様子が分かるようになっていきます。また、「言葉遣い」「時間を守る」「正しい行動」等、先ず大人（教師）から日常生活の中で手本を示し、適宜子供たちに語っていくようにしてまいります。